

CONTENTS

▼土木のはなし

▽わかりやすい土木

- ・核シェルターの話（2）
：矢代晴実

CNCP通信

VOL.124／2024.8.5

■今月の土木■



▼土木に関わる人と活動

▽社会課題への取り組み

- ・荒川放水路通水100周年
「イノシシが泳いできた荒川」出版：三井元子

▼イベント案内

- ・荒川遠泳大会2024
- ・ボクたちの水はどこからきてどこへ行くの？（親子バスツアー）

▼会員紹介

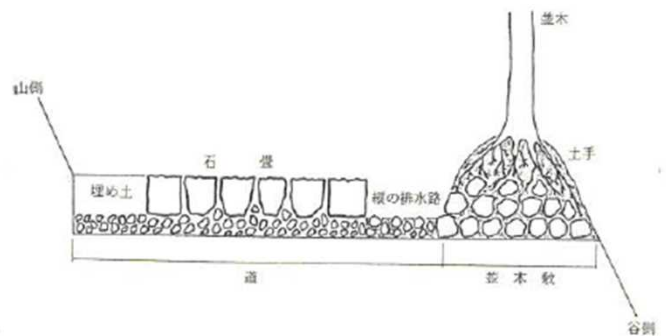
- ・全国街道交流会議全国大会と街道地域づくり
：古賀方子

▼緊急お知らせ

▼事務局通信

【上】外国人記者を招聘した「箱根八里」プレスツアー

【右】「箱根八里」石畳道の構造



■同時代のヨーロッパに先進した江戸の土木技術を紹介
(NPO法人全国街道交流会議 古賀方子)

<https://www.kaido-kaigi.com/>



▼わかり易い土木

核シェルターの話 (2)



元 防衛大学校 教授
矢代 晴実

シェルターの話として、今回は、シェルターの区分や備えるべき性能について、「日本核シェルター協会」のデータより説明いたします。

政府では、2024年3月に「武力攻撃を想定した避難施設（シェルター）の確保に係る基本的考え方について」が発表しています。その後、6月に、政府による2024年の「骨太の方針」が発表され、その中で国内のシェルター整備が重要な施策として盛り込まれ、「シェルター」や「地下施設」という、より具体性を持った言葉が使用されています。

■シェルターの主な種類

シェルターとは「緊急安全確保」が必要な住民に対し、一定期間（時間）について、当該事象から命を守るといふ、安全な空間であるとされています。その空間で安全確保することを「避難（Sheltering）」と言われます。また、命を守ることに際して「避難」という言葉の意味は、英語における避難所への一定期間の避難を意味する「Sheltering」と、近隣の安全な場所への退避等の命を守るための緊急的な避難行動を意味する「Evacuation」の2つの意味を含んでいると考えられます。

そのようなことで、耐火シェルターをはじめ耐水害シェルターやトルネード・ストームシェルターなどが国内外で設置されています。

シェルターの主な種類として、核シェルター、防爆シェルター、フォールアウトシェルター、ストームシェルターなどがあり、その特徴を表1に示してあります。

表1 主なシェルターの種類と特徴

| | |
|---|--|
| 核シェルター (Nuclear Shelter/bunker) | <ul style="list-style-type: none"> ● 地下に鉄筋コンクリートで建設する。 ● 爆風・熱線・初期放射線残留放射線（誘導放射線、放射性降下物）の被害を防護する構造。 ● スイス、オーストリア、北欧、NATO、旧ソ連、アジア諸国での主流。 |
| 防爆シェルター (Blast Shelter) | <ul style="list-style-type: none"> ● 爆発から防護するための構造を採るシェルター。 ● このタイプのシェルターが後の核シェルターのひな形となる。 ● 現在でもイスラエルは耐衝撃に力を入れたシェルターがいたる所に設けられている。また、ドアの前に厚さ200mmの保護壁を設ける住宅も多い。 |
| フォールアウトシェルター (Fallout Shelter) | <ul style="list-style-type: none"> ● 気密性を高めて放射性降下物を除去する換気装置を導入し、放射性降下物の被害から防護する構造。 ● ケネディ大統領が熱心に導入を推進し、ケネディ人気もあって60年代初期に流行するが、アメリカではその後ストームシェルターが主流。 ● 爆心地から距離がある場所や原発の事故に有効。 |
| ストームシェルター (STORM Shelter) | <ul style="list-style-type: none"> ● アメリカの民間で主流はこのストームシェルター。 ● 鉄や鉛でつくられパッケージ化された物体（箱）を地中に埋めるスタイルが主流。 ● アメリカの大多数が最も身近に感じる危機はハリケーンや竜巻なので、このスタイルが中心。日本にも輸入されている。 |

核シェルターの定義は、海外ではスイスやイスラエルでは法令や規定があり、米国ではFEMAによるガイドラインがあります。日本においては公的な規定がなく、建築基準法にも記載ありません。有事法制にも位置付けがない状況です。ただ、核が対象にはなっていませんが、2024年3月に政府より「武力攻撃を想定した避難施設（シェルター）の確保に係る基本的考え方について」が発表されています。

表2 核攻撃の4種の影響

| | | 被害概要 | 核シェルターに求められる性能 |
|------------------|--------|---|--|
| 爆風 (衝撃波) | | 爆弾が気化して急激に張ることにより、衝撃波が発生。35kPaで軽量鉄骨建物が崩壊、70kPaで木造建築物は半壊する。100kPa程度から鉄筋コンクリート造は小規模以上の被害が発生する。150kPaで木造建築物は全壊。崩壊瓦礫の堆積を想定した非常用脱出口の設置。 ※100kPa=風速約405m/s | 100kPa(1バール)の過圧に対抗できる構造=コンクリート厚と配筋量。 ※100kPaはスイスの基準 崩壊瓦礫の堆積を想定した非常用脱出口の設置。 |
| | | 直接波による1次被害。瓦礫や破片の飛散による2次被害(ライフルで撃たれるようなもの)、人体が飛ばされて硬い物に当たることによる3次被害(交通事故のようなもの)、粉塵による呼吸器官の損傷などの4次被害。 | |
| 熱線 (及び閃光) | | 火球が形成され熱線が発生する。直接熱によるⅢ度熱傷(皮膚再生が不可)、Ⅱ度熱傷も放射線障害が重なると皮膚の再生が不可。閃光により爆心地から53kmの地点でも焦点が合うと網造建築物や燃料が近隣にある場合は、熱傷が発生。 | 周辺で火災が起こっても問題のない構造=分厚いコンクリート厚とする。 |
| | | 高熱による人体への直接的な被害(1次被害)に加えて、日本の増やす。場合、車や木造建築が多いため、ガソリンや木材などの可燃物による火災(2次被害)。さらに、都市部では火災旋風(炎の竜巻、火事)が発生する(3次被害)。 | |
| 初期放射線 (電離放射線) | | 連鎖反応中に発生したガンマ線や中性子線による放射能障害。BRCP Publication 60によると、中性子線はγ線に比べて、腫瘍発は約3~200倍、寿命短縮は15~45倍、形質転換は35~70※、染色体異常などは40~50倍となる。 | 金属では防ぐことができない中性子線に対応した構造=鉄筋コンクリート厚。 ※中性子線の透過を1/10に減少させるにはコンクリート厚が550~650mm程度、1/100に減少させるには850~1000mm程必要 |
| 残留放射線 | 誘導放射線 | 地上に到達した中性子線が地上の物質を放射化して、誘導放射物質を作り、新たな放射線を生じさせる。 | 中性子線の透過を減少させる構造。放射線の進入を防ぐ換気装置を装備。 |
| | 放射性降下物 | 核分裂した破片が一旦上昇し、やがて放射性降下物として地上に落下して放射線を出し続ける。 | 放射性降下物の進入を防ぐ換気装置を装備。 |

核シェルターの建設については、スイスでは、核シェルター関連の法令は、国民の義務や避難指針などの民間防衛の諸法規と関連づけられ、1963年の「民間防衛のための建設手段に関する連邦規則」以降に整備が進みました。また、建築構造の面積・容積、必要なスペースとレイアウトなど、建設指針だけでなく、設備の仕様・運用、点検項目まで、詳細な規格が規定されています。

日本では、地下に窓のない空間を作るためには、建設時の建築確認申請は、「倉庫」や「納戸」で申請を行うしかありません。また、建設施工に関するガイドラインが存在しておらず、ノウハウがない状況です。

スイスで詳細な仕様が決めている理由は、国民保護の目的が、国民の命を守ることであり、核攻撃の際に国民の命を守れないと意味がないという考え方からです。

■ 脅威と外力

今、核攻撃から守るべきことは、直接人体、建物、設備に被害を及ぼす4項目である「爆風(衝撃波)、熱線(熱波)、初期放射線(α線、β線、γ線、X線、中性子線など)、残留放射線(誘導放射線放射性降下物)」と、設備に直接被害を及ぼし、間接的に人体に被害を及ぼす1項目であるEMP(電磁パルス)であるとされています。

現在の核シェルターの定義は、核攻撃の影響「4+1」に対抗するものとされています。

核攻撃における爆風(衝撃波)、熱線(及び閃光)、初期放射線(電離放射線)、残留放射線の4つの影響については、表2に示したとおりです。

また、通常兵器(小火器、砲弾、爆弾、ミサイル)、核兵器、生物兵器、化学兵器、電磁パルス兵器とその外力の関係を示したものが表3になります。

表3 脅威と各種外力

| 対象脅威 | | 衝突 | 爆風 | 熱線 | 放射線 | | 生物剤 | 化学剤 | 電磁パルス(EMP) |
|---------|------|----|----|----|-----|----|-----|-----|------------|
| | | | | | 初期 | 残留 | | | |
| 通常兵器 | 小火器 | ○ | | | | | | | |
| | 砲弾 | ○ | | | | | | | |
| | 爆弾 | ○ | | | | | | | |
| | ミサイル | ○ | | | | | | | |
| 核兵器 | | ※ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ |
| 生物兵器 | | | | | | | ○ | | |
| 化学兵器 | | | | | | | | ○ | |
| 電磁パルス兵器 | | | | | | | | | ○ |

※爆風による崩壊ガレキなどの衝突が有り

▼社会課題への取り組み

荒川放水路通水 100 周年

「イノシシが泳いできた荒川」出版

NPO 法人あらかわ学会 副理事長

三井 元子



■荒川放水路通水100周年

明治43年（1910）の東京埼玉大水害をきっかけにして、いよいよ隅田川から分岐する荒川放水路を建設することが決まりました。北区岩淵から海までの全長22km、川幅（堤防から堤防のまでの幅）約500mにも及ぶ大工事が始まったのです。そして大正13年（1924）10月12日、岩淵水門で通水式が盛大に行われました。あれから100年、荒川下流は一度も決壊することなく東京都心部を守ってきたのです。



赤水門下流が隅田川、左上が荒川放水路

荒川放水路は、明治40（1907）の洪水で推定された流量に基づいて、荒川上流から隅田川へと流れていく4,170m³/sの流量の内830m³/sを隅田川に流し、残り3,340m³/sを新しく開削した荒川放水路に流そうという計画でした。しかし明治43年の水害の推定流量が5,570m³/sもあったため、堤防高を計画よりも高くすることで断面積を増やしました。そして閘門などの工事を追加して、5年後にすべての工事が完了しました。工事を担当指揮した青山士（あきら）氏は、大正10年、機械学会での講演会で以下の様なことを述べています。

「低水路を掘った土や浚渫船でさらった土は、合計で三百三十万立方坪（二千万m³）で、エジプトにある一番大きなピラミッドを八つ作れるほどの土の量です。全体の費用は、全部で二千九百四十五万円が必要になるでしょう。大金のように思うけれど、軍艦一艘こさえれば、三千二百万円はかかります。軍艦たった一艘で荒川下流の水害を防ぐことができるのです。……あと少しで放水路によって東京市が水害から完全に保護されるのです」

軍国主義台頭の時期に、人々の命を救うのは軍艦ではなく治水だとはっきりと言いつつ放ったのです。

■『イノシシが泳いできた荒川』出版

東京を流れる大河川、荒川が放水路だということを知らない方が、年々増えていることから、荒川のことをもっと知ってもらいたいと考え、2024年5月、『イノシシが泳いできた荒川』という本を出版いたしました。大人にも子どもにも読みやすい一冊となりました。

第1章は、2019年の令和元年東日本台風（台風19号）で避難した経験を持つ少年が、その数日後に出没したイノシシをきっかけに荒川に関心を持ち、父親と一緒に上流から中流、下流へと取材の旅をしていく物語です。長瀬の「埼玉県立自然の博物館」に行き、秩父まで海だった時代があることを知ったり、徳川家康による荒川の付け替え事業を学んだり、明治43年の大水害時の芥川龍之介の日記に出会ったりして当時の様子を知ります。また、あらかわ学会の理事たちにインタビューして、日米桜交流の歴史や出来たばかりの頃は水練場が12か所以上できて、たくさんの方が泳いでいたことを知ります。でも、地球温暖化が進み、年々水の被害が大きくなっていることを実感していることから、本当に安心して暮らしていけるんだろうかという不安も抱きます。



（四六判 208 頁
1,800 円税込）

第2章では、少年がインタビューをした方たちをはじめ、多くの専門家が上・中・下流の施策や荒川への想い、これからのことを執筆してくださいました。

2019年の東日本台風（台風19号）は、日本の治水史上でも特筆すべき大災害でした。これによって「流域治水」という考え方が生まれ、政策が切り替わる転換点になったのです。荒川放水路はこの100年間、決壊することなく都会に住む私たちを守ってくれましたが、これからの100年は私たちが主体となって私たちの命とまちを守っていかねばなりません。マモル君の様に良好な好奇心を持って、主体的に活動する子どもたちをこれからも支援して、共に解決の糸口を探していきましょう。

■泳げる荒川の復活をめざして「荒川遠泳大会2024」

NPO法人あらかわ学会では、9月14日（土）「荒川遠泳大会2024」を計画しています。水質汚濁防止法や自然再生事業などの多くの努力が実って、泳げる荒川が復活したことを共に喜び合うため、そして河川敷だけを楽しむのではなく、川中のより良い荒川を実現していくための第一歩と活動と考えています。昨年、プレ遠泳大会を行い840mを泳ぎましたが、においも味もなく大変快適に泳ぐことができました。（CNCP通信/2023年11月/Vol.115）

9月14日（土）は、15時に泳ぎ出し、1.5km上流の千住虹の広場に15：30～40分ごろ着岸予定です。ぜひ、応援にきて、泳げる荒川を見に来てください！ なぜ上流に向かっておよぐのか？ それは汽水域だから、そしてイノシシの泳いだコースだからです。



昭和7年 千住新橋下流
講武館水練場（写真：三井元子蔵）

荒川遠泳大会2024
泳者募集中！

9月14日（土）15：00泳ぎ出し
1.5km遠泳
http://www.arakawa-gakkai.jp

荒川放水路
通水100周年記念

【定員 40名】※定員超過の場合は抽選
【参加料】 0,000円
（参加料は、お申し込み時、以下の口座に振り込みください）
【参加資格】
・年齢性別不問
・必ず泳げる泳者（オープンウォーター・スウィムmerに限定）
・泳ぎが得意
・泳ぎ、7km以上を泳ぎに慣れている者
・日本国内に在住している者
【保険】
・保険はご用意済み、参加費に含まれております
※詳しくは募集要項をご覧ください。募集の申込書に必ずお読みください。

当日運営ボランティア募集中！募集には申し込んでください

主催 NPO法人あらかわ学会 03-5833-0111
協賛 荒川放水路100周年記念事業実行委員会
後援 国土交通省関東地方整備局川下流川水管理課

泳ぐルート：左岸 綾瀬川排水機場～
右岸 千住虹の広場まで 1500m

うれしいことに、通水100周年を迎える（旧）岩淵水門、通称「赤水門」が、今年重要文化財指定されることになりました。10月12日には通水100周年記念イベントが北区赤羽の荒川知水資料館と河川敷で盛大に行われます。そこで、あらかわ学会では、「岩淵水門」をテーマに知水資料館のアモアホールにおいて記念講演会を企画しています。ぜひ一度、荒川放水路にいらしてください。

※NPO法人あらかわ学会HP：<https://www.arakawa-gakkai.jp>

※CNCP 通信/2023年11月/Vol.115「泳げる荒川の復活をめざして」-あらかわ遠泳プレ大会-参照

▼イベント案内

荒川遠泳大会2024

泳者募集中!



9月14日 (土) 15:00 泳ぎ出し

荒川放水路通水100周年記念

1.5km 遠泳

百年の想い 100年の未来

<https://www.arakawa-gakkai.jp>



【定員 40名】 ※応募者多数の場合は、抽選

【参加料】 8,000円
(傷害保険、伴走艇等費用、終了後の公衆浴場入浴料を含む)

【参加資格】
 ・高校生相当年齢以上
 ・自然水域での「遠泳」「オープンウォータースイム」等に参加した経験がある

・連続して2km以上を確実に泳ぐことができる泳力がある
 ・日常的に水泳や運動を行っており、健康である

【遊泳ルール】
 複数人で隊列を組み、指示者に従って泳ぎます

※詳しくは募集要項をご覧になり、裏面の申込書に書き込んで提出してください。

当日運営ボランティア募集中! 事務局にお申し込みください

主催: NPO法人あらかわ学会 info@arakawa-gakkai.jp
 (荒川放水路通水100周年事業市民実行委員会)
 後援: 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所

応援大歓迎!



泳ぐルート: 左岸 綾瀬川排水機場前～
 右岸 千住虹の広場まで 1500m)

募集要項をよく読んでお申込みください
<https://arakawa-gakkai.jp/arakawaenei-2024-boshuyokou>

締め切り 8月10日（土）



荒川遠泳大会 2024 参加申込書兼誓約書（提出）

| | |
|--------------|----------|
| (ふりがな) 氏名 | () |
| 生年月日 | 西暦 年 月 日 |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号(携帯可) | |
| メールアドレス | |
| 緊急時連絡先電話番号 | 続柄() |

参加資格の確認

| | | |
|----------|---------------|--------------|
| ① | 参加当日の満年齢 | 才 |
| ② | 自然水域の遠泳等の経験 | いつ どこで |
| ③ | 連続して2km以上泳げる | ()はい ()いいえ |
| ④ | 日常的に運動し、健康である | ()はい ()いいえ |
| その他 | 主催者に伝えておきたいこと | (自由筆記) |
| 参考 質問 | 予備日(9月15日)の参加 | ()する ()しない |

【誓約書】

私は、荒川遠泳大会 2024 の参加にあたり、開催要項等に記載された注意事項を理解し遵守いたします。また「誓約事項」「個人情報及び肖像権に関わる取扱」の記載事項に同意します。遊泳の際には、主催者や指示者の指示に確実に従い、異議を唱えません。

2024 年 月 日

記入者自署氏名 _____

【申込先】NPO法人あらかわ学会事務局 (TEL 03-5284-7885)
 〒120-0005 足立区綾瀬2-11-3 コーポ蓬来202
 Email info@arakawa-gakkai.jp 件名「荒川遠泳2024泳者申込み」
 又は、件名「荒川遠泳大会2024ボランティア申込み」

▼イベント案内

ボクたちの水はどこから きてどこへ行くの？

普段見ることができない施設を見学して“水の流れ”を体感しよう

8月20日(火) 親子バスツアー参加者の募集

8時00時・JR 王子駅前公園集合

17時00分・JR 王子駅前公園解散

見学施設

都民の飲み水を確保する「秋ヶ瀬取水堰」

首都を水害から守る「荒川第一調節池」

利用した水を再処理する「三河島水再生センター」

参加費無料（ただし、資料代+保険代として1名1,000円 大人子どもも同額）



夏休みの自由研究
の参考に！



本物の施設を見て驚きを実感！
技術者によるリアルな説明！



申し込みなどの詳細は裏面
を参照してください。

定員 18組 (36名)

主催 荒川放水路通水100周年事業市民実行委員会
後援 国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
事務局 NPO 法人 あらかわ学会 (担当:いのう)

※本事業は、(一般社団法人)関東地域づくり協会の助成金を受けて実施しています

ボクたちの水はどこからきてどこへ行くの？ 親子バスツアー参加者の募集

開催日 令和6年8月20日(火) 8:00~17:00

見学コース

・8時 王子駅前公園に集合・出発 (バスは8時には出発します)

- ・9時 秋ヶ瀬取水堰見学 (1時間程度)
 - 荒川下流域の飲み水が荒川から取水していることを学ぶ
- ・11時 彩湖自然学習センター見学と出前講座の受講 (1時間程度)
 - 出前講座は国土交通省荒川上流河川事務所職員による荒川の治水事業の解説
- ・12時 彩湖自然学習センターの学習室で昼食 (各自で用意してください)
- ・14時 三河島水再生センター見学 (2時間)
 - 秋ヶ瀬で取水した水を市民が利用し再生 (下水処理) し再び川に戻すこと学ぶ

・17時 王子駅前公園にて解散

参加費は無料ですが、資料代と保険代として一人1,000円をいただきます。当日バスの中で集めます
持ち物：昼食 各自で持って来てください、夏、暑いので食中毒に注意しましょう。

飲み物 熱中症対策のために水分確保を十分をお願いします。



集合解散場所 (JR 王子駅)



集合解散場所と見学施設の位置

申し込み方法 あらかわ学会 HP の問い合わせ先に Eメールにて申し込みをお願いします。

定員になり次第締め切ります。(募集 親子16組)

※多くのご家族に参加してもらうため、原則親子2名での申込みでお願いします。

【申し込み事項/あらかわ学会 HP の問い合わせ先に以下の内容を Eメールでお知らせください】

◆タイトル欄に以下の件名を記入

件名： ボクたちの水バスツアー申込

◆本文に以下の6項目を記入

参加する保護者 (①) とお子さんのお名前 (②)

お子さんは学校名と学年 (③) もお願いします

参加する方の住所 (④) と携帯電話の番号 (⑤) と Eメールアドレス (⑥)

申込 Form は、こちらから [ボクたちの水バスツアー申込書 \(google.com\)](https://google.com)

あらかわ学会の HP <https://arakawa-gakkai.jp/>



▼会員紹介

全国街道交流会議全国大会と街道地域づくり

NPO 法人全国街道交流会議 専務理事

古賀 方子

江戸期の構造が残る箱根石畳道



■全国街道交流会議の活動から



特別委員会「街道交流首長会」との共同提言
(能登半島地震に係る液状化対策支援費の拡充)



首都圏と街道地域との交流推進
(日本橋「街道名水あわせ」)



サークルツーリズム導入による街道地域活性化
(「鯖街道」街道自転車旅)



街道のブランド化と観光活用(東海道「箱根八里」の『日本遺産』化)

■全国街道交流会議と全国大会

NPO全国街道交流会議は、発足以降、街道と街道の歴史文化を連携の軸とした広域の地域づくりを目的に、国、県、市区町村、経済団体等で実行委員会を立ち上げ、各地で全国大会を開催している。全国大会では、地域・全国の課題や将来ビジョンに即した大会テーマを設定して事前勉強会や本大会、エクスカージョン等を実施し、大会提言をとりまとめ全国に発信。

全国大会を開催した地域では圏域整備を進め、大会提言に基づき全国街道交流会議と協働して国等との連携によるみちづくり、まちづくりに取り組んでいる。

■これまでの全国大会と大会内容

□第1回全国大会(2002年)
「萩大会」(山口県萩市)

□第2回全国大会(2004年)
「静岡大会」(静岡県富士市)

□第3回全国大会(2004年)
「羽州街道・上山大会」
(山形県上市市)



大会テーマ：未知維新—
『原点認識』『足下出発』

吉田松陰の遺した言葉・原点認識(げんてんにんしき)、足下出発(そっかしゅっぱつ)を掲げ、未知一道“維(こ)れ新たなり”をテーマに開催した。大会以降「萩往還(はぎおうかん)」の連携活用が進むことになる。



大会テーマ：街道400年、
そして未来の道

富士川と東海道を望む旧富士川町で開催。東京と大阪から研究者を招き、江戸と京・大坂(阪)、それぞれの視点場から、「東海道」の機能・役割を見直し、みちづくりの将来について提言した。



大会テーマ：山の向こうの
もう一つの日本

東北地方整備局と連携し、東北6県を対象地域に東北の道文化の見直しを提言。大会後には、県ごとに街道団体が設立され、東北に数多く残る街道の歴史文化の継承に取り組んでいる。

□第4回全国大会（2005年）
「四国大会」（愛媛県松山市）



大会テーマ：新南海道談義
～廻りの道 巡りの旅～

全国街道交流会議と四国4県、四国経済連合会で行う実行委員会を設立。全国大会での議論を深め成果を具体化する目的で、大会の前に複数回の勉強会を開催。事前勉強会の開催は、「四国大会」以降恒例となった。

□第5回全国大会（2006年）
「飛騨高山大会」（岐阜県高山市）



大会テーマ：まちの風格。
みちの品格。

東海北陸自動車道により創出される連携軸・広域圏を想定し、愛知県、岐阜県、富山県の3県を対象地域に開催。県ごとにそれぞれテーマを設け、高速道路会社も交え街道・道路の利活用と沿線の活性化について議論した。

□第6回全国大会（2008年）
「高岡大会」（富山県高岡市）



大会テーマ：千年往来
～アジア回廊の創出に向けて～

第5回全国大会「飛騨高山大会」とのツイン大会。日本海側の富山県に視点場を移し、東海北陸連携軸をアジア廻廊の一部ととらえ様々な議論を展開した。

□第7回全国大会（2009年）
「鳥取大会」（鳥取県鳥取市）



大会テーマ：街道と地域再生

全国最長の無料高速道路・鳥取自動車道の鳥取県内開通を機に、沿線の鳥取県、岡山県、兵庫県で大会を開催。大会後に因幡街道を連携軸にした「因幡街道交流会議」が発足し、鳥取自動車道の利活用による因幡街道地域の活性化をテーマに社会実験に取り組んだ。

□第8回全国大会（2012年）
「浜松大会」（静岡県浜松市）



大会テーマ：街道がつなく
歴史・絆・未来

浜松市政 100 周年記念として第8回全国大会を開催。大会と勉強会の準備中に東日本大震災が発災。歴史に学ぶ災害に強いまちづくりをテーマに加え勉強会を開催。本大会では、「歴史防災」、「街道観光」の提言を行った。

□第9回全国大会（2013年）
「萩往還・山口大会」
(山口県山口市、防府市、萩市、ほか)



大会テーマ：街道維新
～街道とまち、むら再生

「萩往還」沿線の山口市、萩市、防府市で開催。防府市からつながる瀬戸内、海や河川を通じた大阪との広域連携も議論。「萩往還」の連携活用による街道地域づくりについて提言した。

□第10回全国大会（2015年）
「若狭路大会」
（福井県小浜市、ほか）



大会テーマ：街道が繋ぐ
「出会い」のまちづくり

舞鶴若狭自動車道の利活用による地域活性化を目的に福井県若狭路地域で開催。「若狭路大会」後には、小浜と京都を結ぶ「鯖街道」の『日本遺産』認定を目指し、敦賀市で事後勉強会を行った。

□第11回全国大会（2016年）
「福島大会」
（福島県福島市、ほか）



大会テーマ：街道復興
～東北のまち、みち再生～

東北中央自動車道でつながる山形県米沢市と福島県福島市、伊達市、相馬市、桑折町を対象地域に開催。大会後には沿線に整備予定の道の駅のゲートウェイ化を目指し社会実験に取り組んだ。

□第12回全国大会（2019年）
「しずおか大会」
（静岡県静岡市、ほか）



大会テーマ：変わる東海道、
広がる東海道。
～街道が創る未来～

静岡市をはじめとするしずおか中部連携中枢都市圏5市2町を対象地域に開催。静岡市・藤枝市の「東海道」の『日本遺産』化をテーマに勉強会を行って認定に導くなど、街道のブランド化に取り組んだ。

□第13回全国大会（2024年）
「山陰大会」（島根県安来市、ほか）



大会テーマ：小泉八雲の物語で
つなぐ山陰
～文化資源として活かす作家と文学～

コロナ禍による3回の延期を経て実施。中海・宍道湖・大山圏域市長会の周年事業として開催。特別勉強会として、中海・宍道湖8の字ルートをテーマにしたシンポジウムを開催した。

■全国大会 成果の事例（社会実験の実施）

□高速道路上での民間施設案内に係る社会実験
第7回「鳥取大会」成果



「因幡街道の宿場町を無料高速道路のSAに、を提案

国土交通省 標識令の改正につながった

□道の駅のターミナル化、高速道路の一次退出に係る社会実験
第10回「若狭路大会」成果



道の駅「若狭おばま」のターミナル化



自家用車・高速バスから市内周遊バスへの乗り換え（二次交通の拡充）

▼緊急お知らせ



先月7月25日、CNCP理事で、(特非)州都広島を実現する会事務局長の野村吉春様が、永眠されました。

通夜と葬儀告別式は、ご親族のみで執り行われました。

野村さんは、2015年に不治の病が発見され、薬の副作用とも戦いながら寛解を目指していました。今年1月にはICUに入りましたが、退院され、2月の理事会にリモート参加され、CNCP通信に投稿され、6月18日の「土木と市民社会をつなぐフォーラム」の運営会議にも、広島市内のカフェからリモート参加され、生涯現役を貫かれました。

心よりご冥福をお祈りいたします。



CNCPは、
あなたが参加し、
楽しく議論し、
活動する場です！

お問い合わせは下記まで

特定非営利活動法人
シビルNPO
連携プラット
フォーム

●登録事務所

〒110-0004
東京都台東区下谷
1丁目11番15号
ソレイユ入谷9F

事務局長 田中努：

cncp.office@gmail.com
ホームページ URL：
<https://npo-cncp.org/>



▼事務局通信

■7月の実績

●第123回経営会議

開催日・場所：7月8日（月）WEB会議

議題：各事業の進捗と予定／理事会の準備／都市計画
コンサルタント協会「都市計画・まちづくりに関係す
る団体の連携について」打合せ報告

■8月の予定

●第124回経営会議

開催日・場所：8月9日（金）WEB会議

議題：理事会の準備／都市計画コンサルタント協会他
との協定について／技術調査担当の設置／総会の日程

●第1回理事会

開催日・場所：8月19日（月）WEB会議

議題：R5年度の活動報告／決算報告／R6年度の活動
計画／会員の退会

■現在の会員と仲間の数

●会員：賛助会員30／法人正会員9／個人正会員24
／合計63

●仲間：サポーター100／フレンズ131／土木と市民
社会をつなぐフォーラム15／インフラパートナー18
／合計264

●CNCPの活動には下記の賛助会員の皆さまのご支援をいた
だしています（50音順・株式会社等省略）。

アイ・エス・エス／アイセイ／安藤・間／エイト日本技術開発
／エヌシーイー／奥村組／オリエンタルコンサルタンツ／ガイ
アート／熊谷組／建設技術研究所／五洋建設／佐藤工業／シン
ワ技研コンサルタント／スバル興業／セリオス／第一復建／竹
中土木／鉄建建設／東亜建設工業／東急建設／ドーコン／飛島
建設／土木学会／西松建設／日本工営／パシフィックコンサル
タンツ／フジタ／復建エンジニアリング／復建調査設計／前田
建設工業（以上30社）



土木と市民社会を
つなぐフォーラム



インフラパートナー
JSCE 土木学会